

< F I N A 規定の概要 >

1. 形状：水着が身体を覆う範囲
 - ① 男性はへそを超えず、膝までとする。
 - ② 女性は肩から膝までとする。ただし首、肩を覆うことはできない。
 2. 素材は繊維のみとする。
 3. 重ね着は、禁止とする。着用できる水着は一枚のみとする。
 4. 水着あるいは身体へのテーピングは禁止とする。
- F I N A に承認された水着には、F I N A 公認マークが水着に付いています。

<国内規定>

国内で行われる本協会公式・公認競技会においては、水着の規定を次の通りといたします。

1. F I N A の水着規定変更に合わせて、平成 2 2 年 6 月 1 日以降、F I N A への世界新記録の申請、日本新記録の公認については、有効な F I N A 公認マークが付いた水着を着用して泳いだ記録のみを対象とする。(水着の確認を行う)
 2. 素材については、繊維を中心とした水着とする。ラバー及び大きなパネル(空気を通さない素材)が貼ってある水着は、禁止とする。素材の規定は、平成 2 2 年 7 月 1 5 日より適用する。
 3. 形状については、水着が身体を覆う範囲を次の通りとする。
 - ① 男性はへそを超えず、膝までとする。
 - ② 女性は肩から膝までとする。ただし首、肩を覆うことはできない。
 形状の規定は、平成 2 3 年 4 月 1 日より適用する。
 4. 平成 2 3 年 4 月 1 日以降も、F I N A の承認を受けていない水着でも使用可能とする。(ただし、素材、形状については、上記 2 項、3 項を守ること)
- ① 重ね着は禁止とし着用できる水着は一枚とするが、水泳用インナーショーツ(サポーター)などのモディスティースーツ(不適切な露出を避けることを目的とした水着)、女性用インナーパット(カップ)などの使用は認める。
- ② 現在有効な F I N A 公認マークは、2009 年 9 月と 11 月に F I N A から承認された水着につけられた、右のマーク。FINA の文字の下の 09/09 の数字は年度で変更あり。



※ 水着の改造は禁止。

※ テーピングを必要とする場合、審判長の許可が必要。

	世界記録 日本記録の公認	国際大会(FINA 主催及 び FINA 公認)	世界記録・日本記録に 該当しない選手
6/1 ~ 7/14	現在 FINA が認定している水着を着用すること WR:承認マークの写真撮影・コード番号確認 NR:審判長が承認マーク確認	現在 FINA が承認している水着を着用すること(招集等で確認など) FINA 公認の国際大会は主催者側へ確認が必要	現行通り 水着の重ね着禁止: インナーショーツ(サポーター)などのモディスティースーツ・女性用インナーパット(カップ)は使用可能
7/15 ~ 3/31	上記通り	上記通り	ラバー水着・大きくパネル(空気を通さない素材)を貼りつけてある水着は使用禁止。ロングスパッツ・小さなパネルの貼りつけは使用可能。
2011 年度 4/1~	上記通り	上記通り	形状は FINA 承認のものに限る。(ロングスパッツ禁止) 素材は小さなパネルは使用可。FINA 承認マークはなくてもよい。

最近、高速水着と称される身体の締め付けがきつい水着を着用したスイマーの、大会会場での体調不良が多数報告されています。このような水着を着用する場合は、長時間の着用を避け、また自身の体調管理をしっかり行ってください。